

スマイラフ®を服用される患者さんへ

スマイラフの服用中は、特に次のような症状に注意が必要です。
体調の変化に気づいたときは、服用をやめてすぐに医師に相談してください。

服用ごとにこのような体調変化がないか、チェックしましょう。

- 皮膚に痛み・かゆみ・発疹がある
- かぜっぽい
- 熱がある
- だるい
- 食欲が低下した
- 乾いた咳がでる
- 息切れやめまいがある
- 白目や皮膚が黄色くなる
- 激しい又は持続する腹痛がある
- 手足や全身の筋肉痛・しびれがある
- 尿の色が赤褐色になった

このほかにも、次の項目に当てはまる場合には
必ず主治医に伝えるようにしましょう。

- ほかの医療機関にかかった/薬をもらった
- 予防接種の予定がある
- 悪性腫瘍(がん)といわれた/治療を受けたことがある
- 妊娠中/妊娠を希望する
- 授乳中



悪性腫瘍(がん)検診については裏面へ

気になる症状が認められた場合は、すぐに医師に相談してください。

悪性腫瘍(がん)検診について

関節リウマチの患者さんは、そうではない方と比べてある種の悪性腫瘍(がん)の発現率が高くなる可能性があるといわれています。因果関係は不明ですが、スマイラフを服用した方で、悪性腫瘍(がん)や悪性リンパ腫の発症が報告されています。スマイラフ服用中は、がん検診等を定期的に受診し、検査結果を医師に伝えておくといでしょう。

市区町村のがん検診の項目

厚生労働省では、科学的根拠に基づき以下のがん検診の受診を推奨しています。

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査 又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部 エックス線検査に ついては40歳以上 に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部 エックス線検査に ついては年1回実 施可
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診 及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線 検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

厚生労働省健康局がん・疾病対策課資料「がん検診の種類について」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/000462461.pdf> (2023年11月1日現在)

医療機関名

スマイラフを服用される
患者さんに向けたサポートツールは
こちらからもご覧いただけます。



<https://smyraf-pts.jp/support/>
スマートフォン、パソコンの
どちらからでもご覧いただけます。